

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	欧米の子ども文化				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 教養教育-2 豊かな人間性の醸成				

《授業の概要》

英語を話す諸外国で、英語は多文化・多言語社会における共通語の1つと位置づけられる。子どもはその文化をどう受け継ぐのか、北米、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、イギリスが生み出した英語圏社会、多民族国家での多文化共生のあり方を、子どもの文化の視点から、歴史的、社会的、文化論的側面を学習する。幅広い知識と国際感覚を身につけ、グローバル社会での子どもの今後の共生とは何かを追及したい。

《授業の到達目標》

欧米の文化とその背景がわかるようになる。
 多文化共生の概念を構築する。
 国際感覚を身につける。

《成績評価の方法》

Participation (平常点、レポートを含む) : 60%
 In-class Test (期末テスト含む) : 40%

《テキスト》

なし

《参考図書》

必要に応じて参考書を紹介する

《授業時間外学習》

- ・毎回の講義ごとにレポートの提出があり。復習を中心に自分の感想、考え、意見を書いてもらう。
- ・予習については、各講義の進行に応じて説明する。

《備考（教員経験の有無）》

保育・幼稚園のALT講師としての経験、文科省より全国の新任ALTへの指導経験・ラジオ子ども英語プログラム講師、イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	授業概要、 コースイントロ	Introduction (コロナ禍での授業のあり方も含めての紹介も行う)
2	北アメリカ：50州	North America(The United States : 50 states, geographical approach)
3	北アメリカ：人種、文化	North America(The United States : people and culture)
4	北アメリカ：歴史背景、 レポート	North America(The United States : historical backgrounds) Report 1
5	北アメリカ：カナダ	North America(Canada) Report2
6	英国：イングランド	The United Kingdom(England)
7	英国：スコットランド	The United Kingdom(Scotland)
8	英国：北アイルランド	The United Kingdom (Wales, Northern Ireland) Report 3
9	オーストラリア：地理	Australia(geographical approach)
10	オーストラリア：人種、 文化	Australia(people and culture)
11	オーストラリア：歴史背景	Australia(historical backgrounds) Report 4
12	ニュージーランド：地理	New Zealand(geographical approach)
13	ニュージーランド：人種、 文化	New Zealand(people and culture)
14	ニュージーランド：歴史背景	New Zealand(historical backgrounds) Report 5
15	総括	Review